

## 2023(令和5)年度 国際学術研究助成決定一覧

(公財) 平和中島財団

### 1. 国際学術共同研究助成 (決定3件/応募40件)

研 究 課 題	研究代表者 (参加者)	助成額(万円)
アンデス文明における希少財の流通と複合社会の成立に関する分野横断的研究 (人)	松本 雄一 人間文化研究機構 国立民族学博物館 准教授 (8)	498
生分解性ナノファイバーを用いた神経再生用導電性足場材料の開発 (工)	城崎 由紀 九州工業大学 大学院 工学研究院 准教授 (3)	498
続・独特な動物相が混在するスリランカにおける齧歯類媒介性ウイルスの疫学調査及びヒト疾患への関与の解明 (保)	浦田 秀造 長崎大学 高度感染症研究センター 准教授 (4)	500

### 2. アジア地域重点学術研究助成 (決定21件/応募66件)

研 究 課 題	研究代表者 (参加者)	助成額(万円)
日本占領下フィリピンにおける相互扶助をめぐる民衆史の研究 (人)	荒 哲 京都大学 東南アジア地域研究研究所 連携教授 (2)	129
東アジアにおけるムスリム・コミュニティを通じた多文化共生の比較 (人)	西川 慧 石巻専修大学 人間学部 准教授 (6)	150
中央アジアにおける魚皮使用弦楽器の調査研究 (人)	鶴島 三壽 関西外国語大学 英語国際学部 教授 (2)	146
アジア法整備支援の理論的基盤構築のための学際/国際共同研究 (社)	林 秀弥 名古屋大学 アジア共創教育研究機構 教授 (4)	130
越境人身取引市場の「法と経済学」分析：中越国境地帯における少数民族のフィールドワーク (社)	土門 晃二 早稲田大学 社会科学部 教授 (3)	147.9
経済発展下の東南アジア農村におけるライフスタイルの変化とエコロジカル・フットプリント—東北タイおよびフィリピン・ルソン島における事例分析— (社)	佐藤 孝宏 弘前大学 農学生命科学部 准教授 (4)	150
インドにおける起業活動を通じた女性のエンパワメントと包摂成長 (社)	二階堂 有子 武蔵大学 経済学部 教授 (4)	146.8
シンガポールと日本の遠隔ケアと遠隔医療の社会学的工学的分析 (社)	山崎 晶子 東京工科大学 メディア学部 准教授 (7)	150

イラン産酸化鉄型銅金鉱床に含まれるヒ素の濃縮及び溶出機構の解明と地下水汚染への影響評価（理）	勝田 長貴 岐阜大学 教育学部 准教授 (2)	150
人間と共に分布拡大した小型哺乳類の琉球列島南部・台湾・フィリピン北部における進化史の解明（理）	本川 雅治 京都大学 総合博物館 教授 (6)	140
アジア諸国の水問題解決に向けた廃棄物利用・循環型の新規下水処理システムの開発（工）	渡利 高大 長岡技術科学大学 大学院 環境社会基盤系 助教 (3)	150
東南アジア大都市におけるオンライン型オンデマンド配車サービスに関する研究（工）	加藤 浩徳 東京大学 大学院 工学系研究科 教授 (9)	150
食用バナナの糖質消化性調節に関する研究（農）	小川 幸春 千葉大学 大学院 園芸学研究院 教授 (2)	149
家畜肉に含有される住肉孢子虫の種同定に有用な分子系統学的マーカーの検証と種多様性解明（農）	佐藤 宏 山口大学 共同獣医学部 教授 (6)	150
家畜生産性を減損する消化管寄生原虫のインドネシアにおける経済分子疫学調査による実態解明と実践的な簡易診断法の共同開発（農）	松林 誠 大阪公立大学 大学院 獣医学研究科 教授 (5)	150
生ゴミ活用が拓く土壌生態系機能の持続性とカンボジア農村活性化（農）	片岡 良太 山梨大学 生命環境学部 准教授 (6)	150
ベトナム枯葉剤散布地域における胎児期ダイオキシン暴露指標としての臼歯エナメル形成度の検討（保）	西条 旨子 金沢医科大学 医学部 嘱託教授 (5)	149
ベトナムの新型コロナウイルス感染症パンデミック下における網羅的な感染症動態調査（保）	阿部 遥 長崎大学 高度感染症研究センター 助教 (5)	150
パレスチナで急増する先天性・後天性血液疾患の病態解明とその社会的背景・要因の精査（保）	Heissig Beate 順天堂大学 大学院 医学研究科 特任准教授 (4)	150
新たな診断技術を用いたラオスの悪性中皮腫の実態解明—アスベスト禁止法の成立のために—（保）	大崎 博之 神戸大学 大学院 保健学研究科 准教授 (8)	150
ネパール遠隔地における非感染性疾患対策としてのヘルスプロモーション戦略の構築（保）	岩下 華子 東京女子医科大学 医学部 准講師 (6)	150